

平成 26 年度庄内町議会町民と語る会報告書

平成 26 年 12 月 16 日

はじめに

庄内町議会は、町民に開かれた議会及び積極的な町民参加を推進することを目指し、平成21年度から「議会報告会」を開催しております。昨年度からは、より町民主体の会になるよう「町民と語る会」に名称を改め、今年度については10月23日から27日にかけて各学区等において開催しました。今回は、「地域の課題と振興策」をテーマに掲げました。

議員が町内の各学区等に出向いて、議会活動状況や課題の取り組み状況等について報告するとともに、町民から議会活動に対する意見、町政に対する提言等をお聴きし、町民の皆さんと有意義な意見交換ができたものと思っております。

町民と語る会で出された意見・要望等を今後の議会活動につなげ、議会運営の改善を図るため、次のとおり報告します。今後とも、町民と議会との交流の場を通し、町民に開かれた議会、町民に信頼・期待される議会を目指してまいります。

1 開催状況

開催日	開催時間	開催会場	参加人数
10月23日(木)	18:30~20:30	狩川公民館	8人
		余目第一公民館	21人
10月24日(金)	18:30~20:30	清川公民館	24人
		余目第三公民館	23人
		立谷沢公民館	13人
10月27日(月)	18:30~20:30	余目第四公民館	7人
		余目第二公民館	23人
合計			119人

2 議会に対する主な質問・意見・要望

質問1 報酬を上げてもいいと思っているが、議員報酬はどうなっているのか。(1班・狩公)

回答 議会は決定権がないので町長からの回答を待っている状態である。動きとしては10月16日に有識者懇話会を開催しているが、特別職報酬等審議会がまだ開催されていないため、町長からの結論は出ていない。

質問2 議員報酬はどうなったのか。(1班・清公)

回答 議員定数等調査特別委員会を設置し報告書を提出しているが、議員には予算の決定権がないので町長の判断を待っている状況にある。10月16日に10人の有識者懇話会を開催しているが、まだ、結論は聞いていない。

質問3 議員は報酬を上げないで、無報酬でも町民のために頑張ってもらいたい。(2班・四公)

回答 議員報酬の改定は、次の世代の議員が議会活動に専念できる環境をつくる第1歩と考えている。

質問4 昨年の議員定数削減について、語る会での町民の声やシンポジウムの学識経験者の意見は、現状維持であったがそれはどのように反映されたのか。報酬についても進んでいないようだがどうか。(3班・二公)

回答 特別委員会で検討した結果、定数2人削減の報告し条例を改正した。報酬については町長に委ねられている状況である。

質問5 定数は削減になったが今後報酬はどうするのか。(3班・立谷沢公)

回答 報酬等審議会を開く前段階である有識者懇話会を開いたということである。町長の報酬についての考え方が示された場合は報告したい。

質問6 議員は団体の代表にならないとなっているが、弊害はないのか。(2班・一公)

回答 町から補助金等を受けている場合、その予算を自ら検討し、評価する事になるので矛盾する。代表に就任しないよう努めるもので、他の役職は妨げるものではない。また、見直しが必要かどうか議会で検討している。

質問7 昨年の12月議会で夜間議会の論議をされていたがどうなったのか。(1班・清公)

回答 当局側から提示された案では日程等が短縮されており、職員に対する負担も考慮し、議会の機能を十分に発揮できないと判断し辞めることにした。

質問8 議会中継のアクセス件数が大変多くあると記載されているが、どの様な人がアクセスしているのか。65歳以上の高齢者がネット経由で見ているとは考えにくい。ネット配信は必要ないのでは。(2班・一公)

回答 ネット配信は誰がどのような質問をしたか、いつでも見る事ができるので有効だと考えている。併せて、ネットを利用していない方には、議会広報紙を充実さ

せることで対応している。

質問9 議会概要で説明のあった常任委員会視察調査費・政務活動費について説明してほしい。(3班・立谷沢公)

回答 政務活動費は支給されていない。常任委員会では所管事務から閉会中の調査事件を決め、先進地を視察する費用と費用弁償として任期4年間で一人50万円としている。1年間12万5千円としている。広報常任委員会・議会運営委員会では年間一人6万円とし、広報常任委員会では東京で毎年開催される研修会に参加し、議会運営委員会では今年度は、大学教授の講演による研修を予定している。常任委員会の活動のなかで町に提言するなど議会活動で見える視察費用として捉えている。

質問10 「語る会」の参加者が少ないようだが、町内会長の協力などを得るよう努力が必要ではないか。(2班・四公)

回答 次回の語る会に生かしたい。

質問11 今回の議員選挙の投票率がかなり低いが、どう分析しているか。(2班・四公)

回答 要因としては、選挙告示日近くまで無投票の様相があったことと、投票所が削減されたことにより、町民の関心が低下したのではないかと。

質問12 風車市場を道の駅にするにあたり、ラーメン屋に来る大型自動車の駐車場となっている、あの場所について議会で議論したことがあるのか。(1班・清公)

回答 消防署の建設の時に議論した経過があるが、契約で地代をいただいているため現状のままとなっている。

質問13 若者定住促進住宅事業は町の人口増につながっていないし、民業を圧迫しているのではないかと。検証・調査をしっかりとやってもらいたい。(2班・一公)

回答 事業全般について常に注視しながら検証する姿勢は大切だと思う。民業圧迫については継続的に注視していきたい。

意見

意見 国で地方創生の議論が高まっている。議会でもこの動きに同調して、プロジェクトを立ち上げるなど、行政に提案して欲しい。(3班・二公)

3 町長部局に対する主な質問・意見・要望

財政・予算

質問1 合併特例債の金額はどれ位になっているのか。また、本町の実質的な借金はいくらになるのか。(2班・三公)

回答 町債残高は141億5700万円であり、その内、合併特例債は18億5600万円である。実質的な借金は、概ね50億円程度となっている。

質問2 合併特例債の活用状況は5年間延長されたが、今後の見通しはどうか。(1班・狩公)

回答 詳しい数字を持っていないので後日お知らせをする。10億円ぐらい使っているが、今後庁舎の建設も話題になっている。なお、10月5日号の町の広報に詳しく掲載されているので見て頂きたい。

質問3 来年度で合併特例債がなくなると聞いているがどうなのか。(1班・清公)

回答 合併特例債は5年延長されるが、今までに70億円の内、約10億円を活用し60億円残っている。今年度は消防署建設に活用の予定である。もし、役場庁舎を建設することになれば、合併特例債が使われることになるものと思われる。

質問4 公債費率が膨らんできているが、将来の子ども達への負担は大丈夫か。(1班・狩公)

回答 大型事業は3年間据え置きでこれから元金の償還にはいるが、当局では十分考慮していると答弁している。行財政改革推進計画を実施しながら、約3億円の削減に取り組んでいる。なお、議会でもこれから悪化しないように当局に申し上げていく。

質問5 庄内町の人口が減少し、公債費も増加している中、2分署体制の消防署を建設し多額の投資をする必要があるのか。(1班・狩公)

回答 消防組合でも論議された結果であり、今、消防署とデジタル無線等も整備されていることで、多額の投資になっているが、合併して広域になり救急の出動も多くなっており、命にかかわることなので2分署体制になっている。

質問6 町税で人件費を賄うのが健全な財政運営だと聞いているが、庄内町はパート賃金を入れると20億円で賄われていないようだが、それに見合う予算化になっていないがどうなのか。(1班・狩公)

回答 町税で賄えることは目標であるが、達成できていない状況である。パート賃金は1億2千700万円となっている。職員適正化計画に従って、合併し10年間に職員を300人から250人に削減しながら対応している。

質問7 パート職員の給与が物件費となっているが、人件費に入るべき性質のものではないか。(2班・一公)

回答 民間企業感覚からすれば人件費に分類されていると思うが、官公庁では職員給

与と臨時・パート職員賃金は区別しているのが通例である。

観光

質問 8 町長は観光に力を入れていくと聞いている。その一環として狩川城址公園の整備も計画されているが、2つの東屋のところの雑木を伐採し、見晴らしをよくして、庄内平野を一望できるように整備すべきと思うがどうか。(1班・狩公)

回答 東屋の付近の雑木の伐採については、私有地であるため今後の検討になる。なお、担当課に伝える。

質問 9 狩川城址公園の概要は示されていないが、以前の囲町の方から登っていた場所は整備されておらず、降雨時には災害の心配もあり土砂災害の危険区域にもなっている。どのような対応をするのか。(1班・狩公)

回答 総合計画を策定中なので、その中で一帯を整備されるものと思われる。なお、町に伝える。

質問 10 楯山公園の今年の桜は素晴らしい花が咲き沢山の観光客があった。来年も鳥の対策を実施し十分な管理を要望したい。(1班・狩公)

回答 今年は8,000人以上の観光客があったと聞いている。町に伝える。

教育

質問 11 少子化に伴う学校の統廃合についてどう考えているのか。(3班・二公)

回答 子供たちの減少は確かに進んでいる。小学校の学区の再編成では教育委員会で検討中である。学校が無くなることは地域にとって大変なことである。人を呼び込み人口増加の様々な施策は行われているが、なかなか難しい現状である。

質問 12 立川中学校は6年を過ぎると100人を切ると言われており、町では2校を残すと言っているが、それに伴って教師も削減されることから、部活や授業にも影響がでると言われている。バス通学にすれば余目に1校でもいいのではないか。(1班・狩公)

回答 議会としてはまだ中学校の統合については話し合いがされていないので、町に伝える。

質問 13 学校給食共同調理場はどこに移転されるのか。(1班・狩公)

回答 立川老人福祉センターの後ろにある福祉運動広場が予定されている。平成27年度に実施設計し、28年度に建設、29年度開始予定となっている。

質問 14 これから庄内町は人口が2040年には2万2千人から1万4千人になると言われているが、当然子ども達も減少していくことになるので、立川中学校の歩道が整備されないのではと心配されるので、できるだけ早く整備してほしい。(1班・狩公)

回答 狩川の地区集落要望計画に入っているので、優先順位はあるが整備して行くと

思われる。

質問 15 庄内総合高校を継続するためにはいろいろな課題があるが、白鷹町では6万円を遊佐町では7万円入学する生徒に町から支援をする政策が提示されているが、白鷹町では少しではあるが増加していると聞いている。

また、東根市、鶴岡市等では中高一貫校の教育を志向しているが、町として話し合った経過はないのか。町長の決意が見えない。(1班・狩公)

回答 本町にとって庄内総合高校の存続は重要であるので、町に伝える。

質問 16 清川小学校の解体について清川地区振興審議会と議員と話し合いをしてきたが、老朽化が進み冬に向かって雪の重みを心配している。町はどう考えているのか。(1班・清公)

回答 来年度から国の有利な起債を活用するためには、施設の管理計画の作成が必要であり、来年度の予算計上に向け計画を策定中である。再度町へ伝える。

質問 17 公民館運営の指定管理者制度の導入はどうなっているのか。(3班・立谷沢公)

回答 行財政改革のもとに職員の引き上げを含む公的施設の指定管理者制度が出されたが、交付金制度で各公民館が動き出している。

質問 18 第四公に農具等の資料館があるが、町内には眠っている貴重な資料が多くあると思う。歴史を大切にし、多くの人から見てもらうためにも集客力のあるクラッセ周辺に展示を考えてはどうか。(2班・一公)

回答 新しい施設を造り展示するには議論を要するが、新潟県の村上市の市民団体による「屏風祭」のように普通の商店に屏風や古い資料性のあるものを展示・公開することで、多くの観光客を誘致している所もある。庄内町にも歴史のある民家や商店を活用した展示の仕方もあると思う。

質問 19 立谷沢公民館の複合施設の弊害を解決してほしい。町内の公民館ホールで冷房設備がないのは立谷沢公民館だけである。毎年要望を出しているので早急に設置してほしい。(3班・立谷沢公)

回答 町に伝えたい。

道の駅

質問 20 風車市場の道の駅構想はどうなっているのか。また、議会としての対応はどうか。(1班・狩公)

回答 国土交通省とも話し合いをしているが、以前より認可のハードルが高くなっており、「がんばる風車市場」道の駅の会を立ち上げて話し合いをしている。町長は来年7月頃までには方向を示したい意向のようである。

質問 21 風車市場が道の駅になると聞いているが実現するのか。信号機の移動もあるのか。(1班・清公)

回答 町としては道の駅にしたいと考えているが、以前より国土交通省の認可のハー

ドルが高くなっており、「がんばる風車市場」道の駅の会を立ち上げて話し合いをしている。町長は来年7月頃までに方向を示したい意向のようである。荒鍋部落へ行く道が斜めになっているため、付近の道路も整備され信号機の移動も予定されている。

質問 22 高規格道路の廻館以降について、ルートも明確に発表されていない中、風車市場の道の駅化など実現性はあるのか。(2班・四公)

回答 風車市場の「道の駅」化は、高規格道路とは切り離して進めている。高規格道路のルートについては、早く明確にしてもらうように働きかけている。

税

質問 23 0.1%の町税の未納者がいるが、督促はどのような方法で行っているのか。(1班・狩公)

回答 未納に対する時効は5年であり、以前は葉書き等での督促だったが、最近では納税相談員を配置し、電話での催告や差し押さえ等を行った結果、未納者が減少し成果が出てきている。

質問 24 税の振り込みなど不便であり、考えて欲しい。(3班・立谷沢公)

回答 金融機関の不便さについては、地域課題であり対応方法がないか伝えたい。

空き家

質問 25 本町にも、危険な空き家が増え始め近隣からも苦情がでてきているが、対応はどのようなになっているのか。また、空き家を解体した場合、固定資産税が6倍になると聞いているがどうなのか。(2班・三公)

回答 町は、昨年「庄内町空き家等適正管理に関する条例」を施行し、対応している。議会も独自に調査を行い、提言の準備を進めている。

質問 26 空き家に関する条例が実効性のある機能を果しているのか。(3班・二公)

回答 空き家については全国的な問題であり、常任委員会の調査事件として取り組んでおり、先日(10月15~17日)も先進事例を視察してきた。今年度中に報告書を取りまとめる予定である。

その他

質問 27 町内会長と行政区長は役割と立場が違っている。同じ人が担っているのはおかしい。町内会長になると自動的に行政区長になるのか。(2班・一公)

回答 そういう観点からみれば、そのようにも考えられるが、どちらの立場も公益に資するという面では共通していると思っている。

質問 28 行政区長(自治会長)や民生委員は地域の安全・安心を担うため、どこに、どんな方が住んでいるのか把握しておく必要があると思うが、特にアパート等に

住んでいる方を把握するのが難しい。行政区長が自ら訪ね歩いて調べるケースもあり負担が大きい。どう考えるか。(2班・一公)

回答 災害時における「要介護支援者」情報は本人の了解のもと行政区長や民生委員、そして町の保健福祉課の間で情報共有している。対象者の積極的な情報提供が必要と思うが、プライバシー保護が壁になっている。

質問 29 運転免許証を返納するとタクシー券が支給される制度であるが、清川でタクシーを利用すると割高になることはないのか。(1班・清公)

回答 普通にタクシーを利用するのと同じであり、割高になることはない。

質問 30 老人クラブ連合会に所属していないと社会福祉協議会のバスを借りることができないのはどうしてか。(2班・一公)

回答 町に確認する。

質問 31 地域では町からの連絡を受けていないが、旧清川小学校プールにまだ水がたまっているのでは水抜きはしたのか。もっと大きい穴を空ければいつになっても水は抜けない。(1班・清公)

回答 8月頃に穴をあけたと聞いているので、すでに連絡されているものと思っていた。担当課に伝える。

質問 32 企業誘致の環境整備として、高速交通網は必要不可欠な課題ではないか。羽越本線の高速化、新庄からの新幹線の延伸について庄内町はどう考えているのか。(3班・二公)

回答 新幹線の全国的な動きから見ても、羽越本線は取り残されている感がある。陸羽西線は線路の高低差が少なく新幹線に適しているということだ。工事費の試算は約300億円で、新庄駅ができた時は地元負担がかなりあったときいている。その点でも実効性はあるのか、羽越本線の高速化も含め声を出していきたい。

質問 33 酒田市との庄内北部定住自立圏の協定は、鶴岡市との協定に続くものだが、庄内町は両方に関係していて不便ではないか。(3班・立谷沢公)

回答 医師会・広域行政などは酒田で、教育関係は鶴岡になっているが、両方使えるので便利である。

質問 34 町の広報や議会広報など情報提供はあるが、今後はインターネットなどでの検索による情報入手に変わっていくのかと思うが、できない人もいるので配慮してほしい。(3班・立谷沢公)

回答 パソコンのできない方もいるので、情報提供は広報紙で今後も継続していく。

質問 35 町湯がスタートし、町長は入浴券を高齢者1人に10枚ずつ発行すると言っていたが本当か。また、町外の温泉でも利用できるのか。(1班・清公)

回答 議会としては聞いていないが、今年は5枚で来年度に向け10枚発行するのが町長の考えのようである。町内での利用になるのではないか。

質問 36 昨年度議会で婚活について視察し仲人制度の話が出ていたが、一年も経過して

いるのに対応が遅いのではないか。窓口もないので相談に行けない。(1班・清公)

回答 商工会に補助金を出して事業を実施しているが、昨年からは町の「出会いイベント」事業としても実施している。情報発信課が担当課で13組のカップルが誕生したと聞いている。なお、仲人制度の立ち上げも含め、後押しをしていく。

質問 37 若い人が地元に戻ってこないのは、働く場がないからである。企業誘致について用地の無償提供など、大胆な取り組みをすべきではないか。(2班・四公)

回答 企業誘致の促進については、税制面の優遇措置や奨励措置を行っている。大胆な取り組みについては町に伝える。

質問 38 200人の雇用があったとしたユニカは、今は撤退したのか、倒産したのか。また、庄内町から入社した社員はどうなっているのか把握しているか。(3班・二公)

回答 当初6人入社したが、地元に戻省できないので、退職し帰って来たと聞いている。

質問 39 「ナラシ対策」で米価下落の補填をしようとしているが、農家はすぐにでも資金が必要である。また、農地中間管理機構が設立されたが、目的通り機能しているのか。(2班・四公)

回答 山形県町村議長会として、ナラシ対策を前倒しで支給する等、要望書を国に提出している。農家の再生産資金を確保するため、無利子の融資を受けられるよう対応している。

農地中間管理機構については、貸し手と借り手の整合性がとれていないため、機能するには修正と時間を要すると思う。

質問 40 介護保険料が県内で一番高いが主な理由は何か。(2班・四公)

回答 庄内町では介護施設が充実していることから入居者が多いことと、介護サービスを受ける人が多いからである。高齢者が増加する中で在宅介護を充実しなければ、介護保険制度は厳しい状況になる。

質問 41 清川保育園周辺の遊具をトラロープで囲んでいるが、老朽化しているのなら撤去したほうがいいのか。改めて設置する計画はあるのか。(1班・清公)

回答 町に伝えたい。

質問 42 県道(片倉地内)の土砂崩れの補修はどうなっているのか。(1班・清公)

回答 県の治山事業の計画に入っているので、実施されると思っている。なお、確認する。

意見

意見 町の借金はいずれ返さなければならない。これからは自主財源の町税が減少していくと思われる。町財政の将来を見据え借金を削減すべきである。(2班・三

公)

意見 町所有の土地を、民間に売却してはどうか。(2班・三公)

意見 総合計画策定にあたりアンケートの結果や、まちづくり懇談会など町民の意見を聞きたいとしているが、合併 10 年間の総括をどう捉えているのか。(3班・二公)

意見 総合計画策定にあたり、これまでの総括に基づいた今後の町の方向性を示して、町民の意見を聞く場を設けてはどうか。(3班・二公)

意見 10月9日の青少年健全育成第二学区会議通学路交通安全対策会議で出された小学校のスクールバス通学について、何年も同じような要望をしているので適切な答弁をして欲しい。(3班・二公)

意見 町は、大中島の黒百合荘(旧教職員住宅)の売却時に、所有者に売却後の管理責任があることを説明したのか。(3班・立谷沢公)

意見 別荘として購入した人が、草刈りなど管理をしなかったため環境課から所有者に連絡をし対処してもらったが、常時住まない所有者に対しては説明する必要があるのではないか。(3班・立谷沢公)

要望

要望 決算書作成にあたり、町民にわかりやすいように、家計簿的に作って頂きたい。(2班・三公)

要望 空き家の売買契約をする段階で契約内容の中に近隣には迷惑をかけないということを入れて欲しい。(3班・立谷沢公)

要望 県道主要地方道立川羽黒山線が全体的に暗いので街路灯を設置して欲しい。(3班・立谷沢公)

要望 旧立谷沢体育館の屋根の修繕工事を早急を実施して欲しい。(3班・立谷沢公)

要望 庄内地域全体で県に要望を出し、庄内地域に運転免許センターを設置して欲しい。(3班・立谷沢公)